

**製品名: DNAM-1 (リン酸化 Ser329) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab04551**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	60kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CD226
別名	CD226; DNAM1; CD226 antigen; DNAX accessory molecule 1; DNAM-1; CD antigen CD226
遺伝子 ID	10666.0
SwissProt ID	Q15762
免疫原	抗血清は、ヒト CD226/DNAM-1 由来の Ser329 のリン酸化部位周辺の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 287-336

**背景**

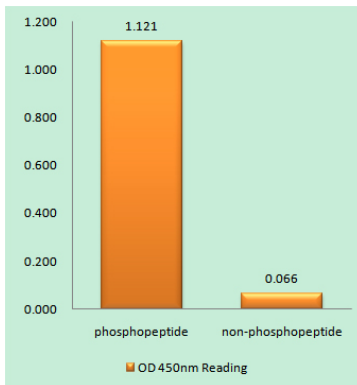
この遺伝子は、NK細胞、血小板、単球、およびT細胞のサブセットの表面に発現する糖タンパク質をコードしています。Vセットの

2つのIg様ドメインを含むIgスーパーファミリーのメンバーです。このタンパク質は、血小板および巨核球細胞の血管内皮細胞への細胞接着を媒介します。また、巨核球細胞の成熟にも関与しています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq提供、2015年1月]機能:細胞間接着、リンパ球シグナル伝達、細胞傷害性、および細胞傷害性Tリンパ球(CTL)とNK細胞を介したリンホカイン分泌に関与する受容体。PTM:リン酸化。類似性:2つのIg様C2型(免疫グロブリン様)ドメインを含む。サブユニット:PVRおよびPVRL2と相互作用する。組織特異性:末梢血Tリンパ球によって発現される。

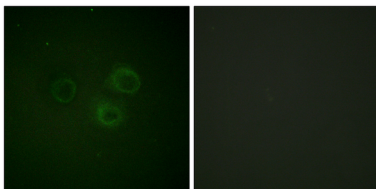
## 研究分野

細胞接着分子 (CAM)

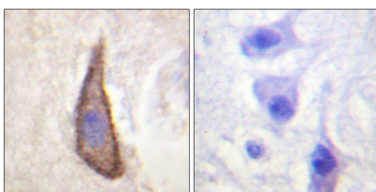
## 画像データ



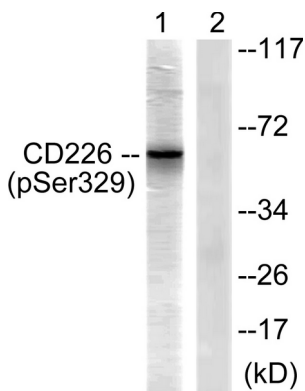
CD226/DNAM-1 (リン酸化Ser329)抗体を用いたリン酸化ペプチド(リン酸化左)および非リン酸化ペプチド(リン酸化右)免疫原の酵素結合免疫吸着測定法(リン酸化ELISA)



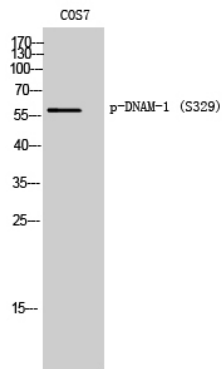
CD226/DNAM-1 (リン酸化Ser329)抗体を用いたA549細胞の免疫蛍光染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロックした状態。



CD226/DNAM-1 (リン酸化Ser329)抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロックした状態。



CD226/DNAM-1 (リン酸化Ser329)抗体を用いたCOS7細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロックされている。



リン酸化 DNAM-1 (S329) ポリクローナル抗体を用いた COS7 細胞のウェスタンブロット解析